

緑の風



令和5年7月12日(水)
流山市立おおぐろの森中学校
第2学年 学年通信
(文責 山崎 真)

〈1学期のまとめとして〉

1学期、子どもたちはグロースクールの活動や授業やテストの学習の取り組みを通して、とても大きく成長しました。

一つ目には、学年の仲間との信頼関係、絆がとても深まったと感じています。これは、グロースクールの活動の中で養われた面が大きいと思います。例えば、事前の班別行動の計画から当日の行程をやり遂げる過程の中、あるいはキャンプファイヤーをみんなで楽しむことができたこと、校外で3日間ともに食事や宿泊で生活をともにしたことなど、多くの場面で仲間同士の関係の醸成につながったと思います。これが、今後の学校生活、そしてその先の人生の中でも、よい思い出となり自分たちの支えとなっていってくれたら嬉しいです。さらにこの3日間で、震災の語り部さん、ネイチャーガイドの方々、宿舎において、きめ細かいサービスを提供して下さった職員の皆様など多くの人々に出会いました。その出会いから、例えば語り部の方から震災についてのお話を聞き、その辛い思いやそこから復興への気持ちを感じたことなどを通して、多くの学びを得ることができたことも成長につながっていくことと思います。

二つ目は、自分たちの行動をどうすることが最適なのか判断する姿勢が増えてきたことです。グロースクールの取り組みの中で、会津の班別活動の行動で計画通りにいかず、時間を調整するなど臨機応変に判断する場面がありました。また、各活動や宿舎の過ごし方で入浴や食事、あるいは急な放送の指示などがあつた中で、そのときそのときの状況や先の活動のことを考え、柔軟に判断し行動するときもありました。そして、グロースクール以外の学校での活動でも、教室内の環境を整えるようにすること、タブレットの使い方や給食の準備や片付けをスムーズにすることなど、課題を見出しながら、改善するためにどうしたらよいのか考えて行動していました。1年生の頃以上に、自分たちをより高めていこうという行動が増え、それが周囲の仲間、ひいては自己の向上につながってきていると思います。

学校目標である「自律」に向けて、2学期以降も自分で考え判断し行動する場面が、体育祭・合唱コンクール、授業などの日常の中にも多くあると思います。体育祭の係の役割や種目の練習、合唱コンクールでの歌練習を進める場面などで、自分がどういう行動をしたら自分も仲間も納得できるのか。そして、納得し合うためにどのような言葉や行動が適切なのか。多様な考えや行動の良しあしをよく考えながら、一つ一つの子どもの選択に寄り添って支援したいと思います。子どもたちだけではなく、わたしたち教員も日々考えをアップデートし、生徒たちの豊かな時間を築いていくことに最善を尽くしていきたいと思います。

1学期も終わりに近づいています。保護者の皆様におかれましては、ここまで多くのご理解・ご支援をいただき本当に感謝いたします。今後も引き続きよろしく願いいたします。